

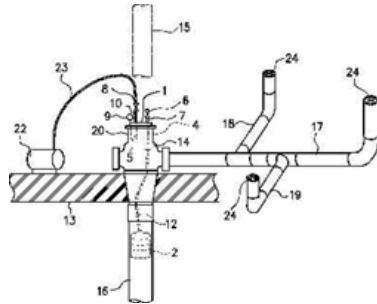
空気圧で漏水の有無を検査します

満空(気圧)試験

研究中

排水系統の漏れ検査には「満水試験」があります。満水試験は多量の水を使用し、特に試験終了後の排水の処理に課題があります。

HASS206-2000に規定されている気圧試験を簡便に実施するための試験方法及び治具を、鉄建建設(株)、小島製作所、あのびるの三社で共同開発中です。



TKAS-100

平成15年4月

発売予定

特許出願中

試験条件

試験圧力	最小 35 kPa (HASS206-2000に準拠)
保持時間	最小 15分 (HASS206-2000に準拠)
判定条件	減圧があつてはならない。
漏れ箇所の発見方法	石けん水を塗布して発泡の有無を調べる。

試験方法

試験対象の各部位を閉塞する



管内を気密状態にして加圧する
試験圧力35kPa



保持時間15分
減圧の有無を確認する

減圧 NG

補修
再試験



GOOD

漏れなし
試験合格

漏れ箇所の確認
石けん水を塗布して
泡の有無でチェック!



- ・排水横枝管の支持を確実にし、空気圧によって排水横枝管が抜け出さないことを確認して下さい。
- ・排水横枝管が若干でも抜け出すと配管内の容積が変わり、減圧の原因となります。
- ・耐火二層管の目地施工は試験後に実施して下さい。